

記

日時：2005年6月23日（木）12:00～16:00

会場：愛・地球博 長久手会場 遊びと参加ゾーン「地球市民村」交流ホール

内容：◇「国際トイレワークショップ」討議・決議報告

国際トイレワークショップ」での討議内容や「トイレ探検館」に寄せられた意見、提案について報告します。

◇「私にもできる国際トイレ支援・協力」

出席者がそれぞれの立場から、途上国など水が十分でない環境でのトイレ支援等についての提案を行います。

<出席者>

渡辺孝雄（財団法人 日本環境整備教育センター調査研究部主幹）

花田恭（独立行政法人 国際協力機構 国際協力専門員）

Jack Sim（世界トイレ機構）

菊地威臣（社団法人 協力隊を育てる会）

NPO法人 都市計画・建築関連OVの会

地球市民村トイレプロジェクト実行委員会

日本トイレ協会／シンガポール／台湾／ロシア ほか

◇「トイレなき24億人を2015年までに半減させる行動宣言」発表

以上

<参考資料>

■日本トイレ協会出展パビリオン「トイレ探検館」概要

コンセプトは「トイレで気づく」。世界にはトイレの無い生活をしている人が24億人もいることや、日本をはじめとする先進国がトイレに使っている水の量など、トイレをめぐる世界の問題を紹介し、トイレの重要性を伝えます。

水が十分でない環境でトイレのあり方や支援の仕方を考える「トイレなき24億人プロジェクト」、水がある環境でのトイレのあり方を節水・運搬技術・処理技術から考える「節水・水の大切さについて」の2つのテーマに関する展示や、災害時に使われる携帯トイレ・仮設トイレを実際に組み立てて、トイレ問題を身近に感じてもらうプログラム等を展開しています。